

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 てらびあぼけっと東川口教室

公表日 令和 7 年 12 月 20 日

利用児童数

41名

回収数

37名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	3		2	・学び・遊びがしっかり区別されて、十分なスペースが確保されていると思います ・十分広くてキレイだと思います	・限られたスペースを工夫して活用しています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	2	1	1	・子どもみんなに目が届くくらい、しっかり配置されていると思います	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35			2	・個室が複数あり、個室外での活動でもマットで仕切りながら個別対応していると思います ・何がどこにあるのか、何をするとところなのか、ちゃんと区分けされていてとてもわかりやすいと思います	・劣化が見られる設備は速やかに更新します
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36			1	・清潔で、子どもも心地よく過ごしていると思います	・毎日の掃除に加えて週1回ブチ大掃除を行なっています
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	1			・家ではできないことや教えられないことも学んで帰ってきます ・子どもの特性に合わせて支援していただいています ・足りないところをよくわかってくださっています	・アセスメントを丁寧に行なっています ・各種研修に積極的に参加し、専門性を高めるよう努めています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35			2		・公表プログラムに沿った計画のもと、支援を行なっています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	1			・毎回しっかりと聞き取りの面談があり、保護者の希望等もヒアリングしてくれた上で作成されています ・できることとできないことをしっかりと見ていただいて計画してくださっていると感じます ・こちらが困っていることをよく理解していただき、困っていることに繋がる部分も見えていただき助かっています	・日々の支援を担当する職員とモニタリングを行なう児発管で話し合いの上、計画を作成しています
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	1			・具体的な支援内容が設定されているのでとてもわかりやすいですし、家でも取り組めることで発達も著しく伸びたと感じます	・ガイドラインを遵守して計画を作成しています
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	1		1	・目的や目標を持って活動してくださっていると思います	・担当職員が計画を確認し、計画に沿った支援を行なっています
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	1		1	・できそうなことなど挑戦させてもらったりして、新たに覚えてくることも多々あります	・保護者さまのニーズやお子さまに必要なプログラムを検討しながら取り入れています ・本部研修に参加し、新しいプログラムの導入に取り組んでいます
保護者 への 説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	1	8	13	・保育園などに通っている子も多いと思うので必要性は感じません	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	1			・とてもわかりやすく丁寧に説明していただきました	・契約時にご説明しています
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	1			・とてもわかりやすく丁寧に説明していただきました ・毎回細やかに説明して下さいます	・更新時には毎回丁寧に説明するよう心がけています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	3	1	11	・希望すれば面談もしていただけるので助かっています ・ペアトレの案内をもっと早くしてほしかったです ・丁寧に相談に乗っていただいています。ありがとうございます	・いただいたご意見を真摯に受け止め、引き続き保護者さまのご意向もうかがいながら丁寧に進めてまいります
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	36	1			・毎回、取り組んだことや課題などをノートに詳しく書いていただけるので、家でも同じような取り組みができています	・面談を提案してじっくりお話をうかがう時間も設けています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37				・専門的な目で見ても助言していただけるので助かっています	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	1		1	・子どもの病気についてちゃんと理解した上で支援していただいていると思います	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	6	14	14		・ご希望をうかがいながら実施を検討いたします

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックの際などに先生方に相談したりお話できる機会があるので、コミュニケーションはしっかり取れていると感じています ・子どもの体のことも考えて迅速に対応していただいたり色々と教えていただいたり、とても助かりました ・相談や、よく話を聞こうとさせていただきます ・日常生活で困っているときにその都度相談すると、迅速に対応案を出していただき助かっています 	・申し入れがあったその日のうちに相談の時間を設けるよう努めています
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37				<ul style="list-style-type: none"> ・毎回ノートに詳細を書いてくださりとてもわかりやすく、よく見てくださっていると感じます 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	4		2		・ブログ・おたより・掲示物を活用し、発信の頻度と質を高めます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	2		4	・管理がしっかりとされていると感じます	・年に1度研修を行ない、職員の意識向上に努めています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	3		5		・研修や訓練内容についてもおたより等で発信しています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	3		5		・定期的な訓練を実施しています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	1		3		・安全計画に基づいた取り組みをおたよりで発信しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	2		7	<ul style="list-style-type: none"> ・事故などが起こっていないので不明です ・発熱時に連絡をいただきました 	・今後も事故のないよう安全に留意いたします
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37				・子どもだけでなく親も安心して通所させています	・保護者さまの小さな心配ごととも気兼ねなくご相談いただける教室を目指します
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	3		1	<ul style="list-style-type: none"> ・通所から数年たちますが、嫌がることなく毎回楽しんで参加してくれています ・とても楽しみにしています ・先生全員が大好きです ・毎回とても楽しみにしています 	・職員もお子さまの成長を楽しみ、喜びながら従事しています
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	2			<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足しています ・空きがなく利用が大変だったので枠を増やしてほしいです ・日々、子どもの成長を感じられます ・一部の職員の知識不足（神経発達などについて）を感じることが。自分で調べて解決できるため聞いても仕方ないと思ってしまいます ・大満足です ・今後もしようしくお願いします 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取り組みも積極的に取り入れながら、お子さまも保護者さまも喜んでいただける支援を行なっていきます ・各クールの受け入れ人数の工夫を検討しています ・職員ひとりひとりが質の高い支援を提供できるよう、引き続き研鑽に励んでまいります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				令和 7 年 12 月 20 日
てらびあぼけつと東川口教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・各クールの定員に対し個別支援に適したスペースを確保している ・ひとりひとりを個室で支援できる体制を確保している	・もうひとつ個室があってもいいと思う
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・児童ひとりに対して職員を1名+α配置し、はじめの会などの小集団活動も対応できるようにしている	・シフト制のため、急な欠員があると日によってはギリギリのときがある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・窓の有無、音の反響がない密室など、児童の特性に応じて部屋を振り分けている ・トイレや洗面台など、児童に合わせて補助道具を使用している ・季節ごとに壁面を変えているが、飾りがあっても集中するためのトレーニングにもなっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・必要最低限の物だけを置いたり、全個室に冷房を設置することで、心地よく過ごせる環境にした ・毎日の清掃や消毒を丁寧に行ない、きれいな環境を保っている ・クール間（児童の入替時）にも部屋の清掃や教材の消毒を行なっている	・トイレの便器と床が接する面が黒ずんでいて清潔ではない ・ドアの指挟み防止カバーはそろそろ交換のタイミングだと思う
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・ひとりひとりが個別の環境で学習できるシステムを整えている ・児童の特性や課題に応じて、話し合いながら環境を決めている	・それぞれの個室でクールダウンはできるが、何もない専用の個室があると尚良い
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・終礼時に支援の振り返りや教室内の課題を共有し、業務改善に努めている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・アンケートの回収率を上げて多くの意見を反映させるため、来所時にお渡しして降所時に回収箱に入れてもらうよう依頼した ・アンケート結果をまとめ、振り返りや改善を行なっている	・保護者向けの見学イベント実施を検討したい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・給与賞与面談や目標面談など、機会を確保している ・職員アンケートを行ない、各々の意見を取り入れている ・職員間の連絡システムを工夫し、互いに配慮するよう心がけている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		・年一回の集団指導や運営指導を実施している	・福祉サービス第三者評価は未実施
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・定期研修（月1回・2時間）を実施している ・本部主催のオンライン研修を活用している ・外部研修にも積極的に参加している	・他教室や他事業所を見学し、支援の参考にしたい
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・HPにて公表している	・ABAの考え方が保護者に行き届いていないと思うことがある
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・保護者のニーズを基に、よりよい方向に向かうよう長期計画・短期計画を立てている ・職員のスキルと保護者の希望のバランスを考えた支援計画を作成している ・定期的に計画を見直し反映させている	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援を担当する職員とモニタリングを行なう児発管で話し合いの上、作成している ・カンファレンスやモニタリング後の共有を通して、計画内容を検討する機会がある 	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・児童ごとに計画と記録をファイリングし、いつでも確認できるよう整えている 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・検査は行なっていないが、他機関の検査結果を反映させたり、行動観察に力を入れている ・本部提供のツールを活用している 	・他のアセスメントツールも使いたい
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに則って計画を作成している 	・今後の課題として、地域支援に力を入れたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・担当間やカンファレンスで活動計画の立案などを行なっている ・担当間のほか、全体でプログラムの検討を行なう機会も設けている ・全員が発言・提案できることを目指している 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・日々のフィードバックや相談の時間を通して、保護者のニーズや児童に必要なプログラムを取り入れている ・本部研修に参加し、新しいプログラムの導入に取り組んでいる ・ニーズや狙いによって、あえて固定化している場合もある 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援に加えて、集団指示や友達との遊びの時間などを組み合わせている ・集団活動ができる児童が増えたことを考慮し、計画に反映している 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼でその日の担当や役割を確認している ・必要に応じて積極的に打ち合わせ（前回の内容確認、プログラムの進め方など）をしている ・担当職員以外も同様の支援が提供できるよう、申し送りや声掛けを行なっている 	・場合によっては毎回必ずではない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時に、児童ひとりひとりについて振り返りを行なっている ・終礼後も必要に応じて共有の時間を設けている ・雑談から支援の本質に関わるひらめきが生まれることがある 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回記録を取り、検証・改善に繋げている 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に一度必ず実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の月に集中しすぎる ・必要に応じて期間を変更することも検討したい
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントやモニタリングを行なう児発管や普段の支援を行なう担当職員が参加している 	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・園訪問や電話で密に情報共有を行なっている ・必要に応じて関係機関連携を保護者に勧めている ・保育園や幼稚園と連携し、見学や面談を行なっている 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連携の制度を通じて支援内容の情報共有・相互理解を図る機会がある ・園訪問などで園での様子を確認し、支援に反映している 	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	・就学相談～入学までの間、必要に応じて教育委員会や小学校に児童の特性などの情報共有を行っている	・終了時のモニタリングシートを渡しているが、学校からのリアクションがないことが多い
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	31	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	5		・個別の関わりはあるがSVはない ・連携の機会を増やしたい
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		・園併用の児童はそれぞれ活動機会があるが、事業所としては行っていない ・現実的に難しい
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・毎回活動後のフィードバックと連絡帳で共通理解を図るほか、保護者の悩みなどを聞いている ・相談やモニタリングを通して話し合う時間を設けている ・ペアトレ時に伝え合うよう努めている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		・必要に応じてホームワークの提案や見学、情報提供を行なっている ・必要と思われる家庭には積極的にペアレントトレーニングを勧め、実践している	・研修のニーズは多いと感じる、どのように展開するかが課題
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時や質問を受けた際には丁寧に説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・モニタリングの内容をふまえて作成している ・日々の保護者とのやりとりでも意向を確認し、児発管に共有している ・作成後に挙がるニーズにも対応できるよう、計画内容を工夫している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・作成・更新後は必ず説明し、内容の同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・モニタリングや必要に応じて面談を実施し、相談に応じている ・フィードバックでは伝えるだけでなく保護者の話も聞くよう心がけている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		・年1回でも開催できるよう検討したい
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・申し入れがあったその日のうちに相談の時間を設けるよう努めている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・おたよりを定期配布し、連絡事項などを伝えている ・ブログを随時更新し、支援の様子や教室情報を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・棚の施錠は必ず行なっている ・個人情報が記載された不要書類は直ちにシュレッダーで処分している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・フィードバックの際は、わかりやすいよう教材を提示しながら説明している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる事態を想定した訓練を行なっている ・その他マニュアルは随時読み合わせや更新を行なっている 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・BCPに基づいた訓練・研修を行なっている ・半年に一度、児童も参加の上で避難訓練（通報・消火）を実施している 	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントで確認している ・カンファレンスで全職員に周知している ・登所時に児童の検温・体調確認をしている 	・投薬依頼の児童なし
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書がある児童なし ・食事提供の機会なし
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・必要な研修は児童も参加の上で実施している 	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画に基づいた取り組みを行ない、おたよりで発信している 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時にヒヤリハットの確認・報告を行なっている ・定期的に過去のヒヤリハットを振り返り、類似事例や再発防止策を検討している 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・委員会を開催し、虐待防止研修を実施している ・個室にカメラを設置している 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に書類で説明している ・三原則に則って支援を行なっている ・危険回避のための制止で力が入ってしまった際は保護者に伝えている 	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	てらびあぼけつと東川口教室			
○保護者評価実施期間	令和 7年 9月 1日		～	令和 7年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数)	37名
○従業者評価実施期間	令和 7年 9月 1日		～	令和 7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 11月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ペアトレや相談支援など、保護者支援が充実している	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアトレではわかりやすいよう専用フォーマットを作成・活用している ・日常的なやりとりや面談で知り得た保護者のニーズを職員間で共有し、支援に反映している ・見学を定期的に提案している 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の会話やFBでは言外の意も汲み取る ・消極的な保護者には対応を配慮しながら支援を継続していく ・必要に応じて面談を勧め、共通理解を図る
2	個別・小集団含め、ひとりひとりの児童に合わせた支援を行なっている	<ul style="list-style-type: none"> ・児童へのアセスメントや保護者の希望の確認などを丁寧に行なっている ・園訪問で教室外での児童の様子を把握したり、他機関の検査結果を支援に活かしている ・児童や課題に応じた環境・設備を整えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・般化を目指し、支援内容を工夫したり職員の知識や技術の向上に努める ・園の先生に来てもらう機会を増やす ・就学先との連携にも力を入れる
3	職員それぞれが高い意識を持って業務に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修や外部研修に意欲的に参加している ・職員間で積極的に情報共有を行なっている ・自発的な行動や発言ができる雰囲気づくりを心がけている 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に新しい取り組みを考え、実践する ・さらなるレベルアップを目指し、各々研鑽する ・イレギュラーにも対応できるよう、情報共有を徹底する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報が行き届いていない面がある	<ul style="list-style-type: none"> ・発信する媒体が限られている ・職員からの声かけや説明が足りない、時間がとりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログ・おたより・掲示物を活用しながら発信の頻度を高める ・日頃のやりとりを丁寧に行ない、情報や認識の差を埋めるよう努める
2	保護者会などのイベントが未実施である	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の制約や人員・駐車場の確保などに課題がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望や必要に応じて実施を検討する ・グループでの見学会など、いま行なっていることの延長線上にあることから始めてみる
3	設備の劣化が見られる	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回のプチ大掃除など清掃には力を入れているが、設備の隅々まで目が届いていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面に関わる部分もあるので、定期的なチェックのほか、気づいたらすぐに報告する ・消耗品は惜しまない